

## 「おおしまネット寺子屋」の開校について（報告）

### 1. 事業実施の経緯等

本市では平成30年3月に「宗像市子どもの未来応援計画」を策定したが、計画策定のため実施した「宗像市子どもに関する支援者調査」において、本市離島には学習塾が無く、子どもが本土の学習塾に通うには交通費等経済的な負担が大きいこと、また本土での交通手段が限られ、子どもの放課後学習の機会に大きな制約があることが指摘されている。また、中学生に対する学習支援は、地域住民によって実施することが困難である。

本事業は、離島にある大島学園（後期課程）の子どもに対し、コミュニティ運営協議会が ICT（eラーニング）を利用した学習支援を中心とした居場所づくり（学校でも家庭でもない子どもの居場所づくり）を行い、必要に応じて関係機関との連携等を図り、子どもの支援に繋げることを目的とする。

開催日時	イベント	参加者
8月29日 19:45～	「おおしまネット寺子屋事業準備委員会」開催	保護者、大島学園（教頭）、コミュニティ運営協議会（会長他）、業者、子ども育成課
9月4日 17:30～	「おおしまネット寺子屋」開校	大島学園9年生（7人）、コミュニティ運営協議会（会長他）、業者、子ども育成課

※ eラーニングを利用した子どもの居場所づくり事業は初めての試みであり、今年度は、試行（モデル事業）とする。事業実施状況等を検証し、今後の事業内容等を検討していく。

### 2. 事業の概要

- 県内16箇所（学習塾が無い地方の空き店舗等）で「地域出張型学習塾ランチ」を開設している「株式会社コラボプラネット（糸島市）」の教材、システム等を利用する。
  - ① プリント学習の **eトレ**
  - ② テキスト問題を解き、その解説をタブレット端末（iPad）で確認する **eduplus**
  - ③ iPadをタッチしながら学習する **eボード**
- ネット寺子屋には「**地域の大人としての子どもの見守り・相談役**」としての「地域サポーター」を1名配置する。
- 学習面で質問がある場合には、「地域サポーター」が教えるのではなく、全国の大学生が講師登録している SNS アプリ **manabo** で問題等の写真を撮って質問し、遠隔から教えてもらう。また、テレビ電話で大学生による解説等を受けることもできる。
- ネット寺子屋入会時に、(株)コラボプラネットの学習カウンセラーが生徒と面談を行い、個別の学習計画（2科目）を作成し、学習計画に沿って各自で学習する。
- 開催日時（毎週2日：計4コマ参加可能）

	時間	火・木曜日
1コマ目	17:30 から 19:00 まで	個別の学習計画により学習（英数理社から選択） ※eトレ、eボード、eduplus、manabo を利用
2コマ目	19:20 から 20:50 まで	学習計画なし（自習） ※eトレ、manabo の利用可

- 対象生徒：大島学園後期課程の生徒（18名：試行的に9年生（7名）から受入開始）

- 実施期間：平成30年9月4日～平成31年3月31日
- 開設場所：大島地区コミュニティ・センター内の学習コーナー
- 事業形態：業務委託（市と大島地区コミュニティ運営協議会）
- 総事業費：500千円（教材等利用料、地域サポーター人件費等）※保護者負担なし
- 国庫補助：250千円（内閣府「地域子供の未来応援交付金」）